



スマホは便利！ですが・・・

中田 智己

12月6日に1・2年生はKDDIの方にきていただき、スマートフォンや携帯電話の安全な使い方について学ぶ「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。また、11日の全校集会で、「OSAKAスマホサミット2017」(府内小・中・高11校で約30名)に参加した2年生3名から、サミットメンバーが考えたスマホの適切な使い方について下記の発表がありました。時間編の標語は本校の生徒が考えたものです。

『大阪スマホ三か条 2017』

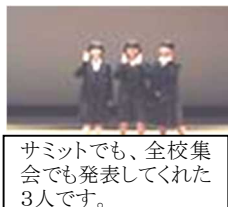
時間編：「気がつけば 今日が明日に なっている」
 人間関係編：「もうやめた あなたのその声 伝えよう」
 危険編：「相談しよう 知らない人より 知ってる人に」

今やスマートフォンは情報を入手し、コミュニケーションをとるツールとして欠かせないものとなってきています。電話やメールなどの通信ツールとしてはもちろん、ゲーム機としても、カメラとしても、辞書としても使うことができます。わからないこともネットを通してすぐに調べることができますし、地図としてもナビとしても使うことができます。あげたらキリがないぐらいスマホはとても便利な優れものですが、一方では小中学生にはあまりにも危険な機械と言われています。ネットいじめや危険なサイトへのアクセス、プライベートな画像流出やゲーム内課金の心配に加えて、スマートフォンを手元から離せなくなるスマホ中毒にも・・・。

携帯電話やスマートフォンを介したインターネットによるトラブルにあわないためにも、次の『インターネット・6つの特徴 (NTTドコモより)』を参考にして、上手に使うようにしましょう。

公開性	世界中に開かれているため、誰でも見ることができる。裏をかえすと誰が見ているかわからない。
信ぴょう性	誰でも自由に発信できるため、情報や相手の発言の真偽を確認しにくい。自分で判断する必要がある。
記録性	一度発信した情報は、誰かにコピーされて広がり続ける可能性がある。完全には削除できない。
侵入可能性	悪意を持った他者に不正使用されたり、アクセスされるリスクがある。コンピュータウイルスに感染することにより情報が漏れてしまうこともある。
追跡性	警察は情報の発信元の機器を特定できる。別々の場での発言を寄せ集められ、第三者に個人を特定されてしまうこともある。
公共性	インターネットはオフィシャルな場。自分や仲間たちだけのプライベート空間ではない。

健康や安全に留意して冬休みを過ごし、1月9日の始業式には、元気で生き生きしたみなさんに会えるのを楽しみにしています。



サミットでも、全校集会でも発表してくれた3人です。

平成30年1月行事予定

狭山中HPにもあります。

日	曜	部活	行 事
12/22	金	×	終業式
23	土		天皇誕生日
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金	×	年末年始休業
30	土	×	
31	日	×	
1/1	月	×	元日
2	火	×	
3	水	×	
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		成人の日
9	火	×	始業式
10	水	×	3時間授業 自転車指導 学校諸経費振替日
11	木		1・2年チャレンジテスト、3年実力テスト 給食開始
12	金		
13	土		
14	日		
15	月	×	
16	火		
17	水		
18	木	×	
19	金		

休み中の予定などは生徒用「冬休みのしおり」もご覧ください。

▼給食は1/11(木)からです。
 ▼1月の学校諸経費振替日は10日(水)です。
 ▼1月のスクールカウンセラー福西先生の校区来校日は、24日・31日(両水曜日とも全日)です。相談希望の方は事前の予約をお願いします。 ☎.365-0071

▲1/20(土)、21(日)の9時から17時まで、SAYAKAホール1階展示ホールで「防火ポスターコンクール作品展示会」が行われます。本校からも多数出展しています。一度、足をお運びください。



保護者懇談会 ★12月18日(月)から始まった保護者懇談会、いかがだったでしょうか。子ども達のがんばりは伝わりましたでしょうか。冬休み・3学期の課題は見つかりましたでしょうか。最近はいろいろな事情の中「孤食(一人だけで食べる)」という言葉ができましたが、できれば今回の懇談の内容を話題に子どもさんと振り返っていただければと思います。よろしくお祈りします。



入学説明会 12月8日(金)の午後、入学説明会を行いました。「オープニング、説明・イベント(学級委)」「中学校生活の説明(生活委)」「飾り付け(環境委)」「ウェルカムボード作成(広報委)」を委員会ごとに取り組み、小学生を迎えました。また、小学生だけでなく、取り組んだ中学生も「楽しかった」「やって良かった」などの感想がありました。